

野路委員 提出資料

大阪大学とコマツとの連携

(年度)		~2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017~
連携形態	個別の共同研究のみ	包括連携協定	共同研究講座（建機等イノベーション講座）										協働研究所（みらい建機）		
			第1期	第2期	第3期										
人的交流	先生と担当者間で個々に連携	組織対組織の連携													
		コマツ費用による大学教員雇用（特任教員）										特任教員増員し研究力強化			
		コマツから阪大に研究者派遣（大学に常駐）													
クロアポ															

2004年：包括連携協定締結 組織対組織の連携を開始

2006年：共同研究講座設置 特任教員雇用、常駐研究者派遣

2015年：協働研究所として体制強化

2017年：クロアポ開始 阪大教授がコマツ研究者を兼務

	協働研究所（2015年～）	クロスアポイントメント（2017年～）
[人材活用・育成]	若手へのポスト提供、斬新な発想、ポスドクのコマツ採用、企業人の学生指導、他部局の研究力	一流研究者の知見、経験、頭脳が、企業の研究開発に参画する
[形態]	組織対組織の連携	教授が一部時間コマツ社員となる（コマツ2割、阪大8割）
[人員]	ポスドク4人＋コマツ派遣2人（常駐）	1人
[費用]	全額コマツ負担 間接経費（20%）＋賃料 ポスドク雇用の人件費	コマツが負担するのは 時間相当分給与＋インセンティブ
[テーマ]	コマツが提示（アカデミック要素も考慮）	コマツテーマ
[場所]	キャンパス内専用スペース	←（協働研究所内）